

## 令和4年度 学校評価における英語教育の実施状況について

### 1 学校評価における英語教育の位置付けについて

確かな学力の育成

「仲間とともに意欲的に取り組める、分かる授業づくりを行い、基礎的・基本的な学力や思考力・表現力の育成に努めている。」

→英語教育については、この項目に含めている。

### 2 自己評価

成果

- ・ICTも活用しながら、多くの児童がミニゲームや歌、チャンツを通して英語の活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・各学年とも、何度も話したり聞いたりする中で、単語や基本文例の定着を図ることができた。
- ・間違いを恐れずに、何度も挑戦してみようとする児童が多かった。
- ・ローマ字や簡単な英単語を書く機会を位置付けることができた。

今後に向けて

- ・小学校のローマ字は訓令式で習うことが多い。高学年では、中学校に向けてヘボン式の表記にも慣れておくとよい。
- ・英語の授業以外も含めて、キーボードを用いたローマ字入力に慣れさせていきたい。

### 3 学校関係者（保護者）評価

毎年12月に実施している保護者アンケートによると、「よく努力している」「努力している」との回答が88%であった。